



番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回再評価時点からの比較			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定					特記事項	担当課		
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点							
						上段: 前回又は着手時	下段: 今回											1事業のみ	①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模			④事業費変更等	選定結果
						上段: 前回又は着手時	下段: 今回																		
14	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	ひらふり びんが原 広岡理道山	下田市	H28(当初)	H28~R2	247	0.00	0.00%	B/C: 10.2	・地元調整の難航により、完了年度を延伸した	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○	国 40% 県 40% 市 20%	砂防課			
					R02(今回)	H28~R7 (+100%、5年延伸)	320 (+29%、73増)	215 (+215)	67.1% (+67.1%)	B/C: 5.4 EIRR: 24.1%															
15	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	はら原	伊豆市	H28(当初)	H28~R2	361	0.00	0.00%	B/C: 1.9		◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	国47.5% 県47.5% 市 5%	※評価調査の作成は省略	砂防課		
					R02(今回)	H28~R5 (+60%、3年延伸)	361 (変更なし)	228 (+228)	63.1% (+63.1%)	B/C: 2.8 EIRR: 11.4%															
16	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	ながめ とうまつ 長沼五郎松	静岡市	H27(前回)	H23~H30	230	120.00	52.20%	B/C: 3.1	・地質が想定以上に脆弱で、法枠工及び鉄筋挿入工の追加等により、全体事業費が増加し、完了年度を延伸した	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○	国 45% 県 45% 市 10%	砂防課			
					R02(今回)	H23~R3 (+37%、3年延伸)	448 (+95%、218増)	382 (+262)	85.2% (+33.0%)	B/C: 1.7 EIRR: 6.4%															
17	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	みずか せいの 水川橋向	川根本町	H28(当初)	H28~R3	332	0.00	0.00%	B/C: 1.0		◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	国47.5% 県47.5% 市 5%	※評価調査の作成は省略	砂防課		
					R02(今回)	H28~R4 (+17%、1年延伸)	332 (変更なし)	269 (+269)	81.0% (+81.0%)	B/C: 1.3 EIRR: 5.9%															
18	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	ひらまつ びんが原 平松敷下白	磐田市	H28(当初)	H28~R2	235	0.00	0.00%	B/C: 2.1	・地盤改良工の増加により、全体事業費が増えた。 ・全体事業費の増額により、完了年度を延伸した	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○	国 47.5% 県 47.5% 市 5%	砂防課			
					R02(今回)	H28~R3 (+20%、1年延伸)	312 (32%、77増)	242 (+242)	77.5% (+77.5%)	B/C: 2.3 EIRR: 11.2%															
19	静岡県	地すべり防止事業(治山事業)	せり 下里	浜松市	H22(当初)	H22~R2	657	0.00	0.00	B/C: 1.4	・ブロック末端部の山腹崩壊による抑制工増工により、全体事業費が増えた。 ・全体事業費の増額により、完了年度を延伸する	◎	◎	継続	・本事業は、地すべりによる被害を未然に防止するものである。 ・費用対効果も見込まれ、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	-	-	-	○	○	◎	国 50% 県 50%	砂防課		
					R02(今回)	H22~R5 (+27%、3年延伸)	1,520 (+130%、860増)	624 (+624)	41.1% (+41.1%)	B/C: 1.1 EIRR: 5.4%															
20	静岡県	海岸(高潮)事業	あまづ とうらぎ 沼津港海岸	沼津市	H27(前回)	H8~R4	5,471	5,129	93.7%	B/C: 6.5		◎	◎	継続	事業は順調に推移しており、地震・津波対策アクションプログラム2013に位置付けており、費用対効果も十分に認められ、津波対策に対する地域住民の要望も非常に大きいため、事業を継続して早期完成を図る。	-	○	-	○	-	◎	国 50% 県 50%	港湾整備課		
					R2(今回)	H8~R4 (変更なし)	5,657 (+3.4%)	5,534 (+405)	97.8% (+4.1%)	B/C: 19.2 EIRR: 27.1%															
21	静岡県	港湾改修事業	しんがら 下田港	下田市	H27(前回)	H8~R2	2,125	1,607	75.6%	B/C: 1.3		◎	◎	継続	事業は順調に推移しており、地元(漁業関係者)からの早期完成に対する期待も高く、費用対効果も認められることから、継続して早期完了を図る。	-	-	-	-	-	◎	国 40% 県 50% 市 10%	港湾整備課		
					R2(今回)	H8~R3 (+4.0%)	2,204 (+3.7%)	2,008 (+401)	91.1% (+15.5%)	B/C: 1.2 EIRR: 5.9%															
22	静岡県	街路整備事業	都市計画道路焼津広幅線(越後島工区)	焼津市	-	-	-	-	-	-		◎	◎	継続	車名高速道路や新車名高速道路等の広域連携軸とを結ぶ重要な路線であり、本路線の整備により市街地内外の移動の円滑や安全性の向上に繋がることから、機能的な都市活動と安全で快適な都市生活に資する街路事業である。 費用対効果も見込まれ、用地買収や工事も順調に進捗しているため、事業を継続して早期の完成を図る。	-	-	-	○	-	◎	国 55.0% 県 30.0% 市 15.0%	街路整備課		
					R2(今回)	H28~R10	7,058	2,692	38.1%	B/C: 1.3 EIRR: 5.5%															
23	静岡県	街路整備事業	都市計画道路谷田原線(幸原町工区)	三島市	H27(前回)	H23~R1	3,356	1,793	53.4%	B/C: 1.1		◎	◎	継続	主要幹線道路間を結ぶ重要な路線であり、本路線の整備により市街地内外の移動が円滑になるとともに、都市内の安全性の向上につながることから、機能的な都市活動と安全で快適な都市生活に資する街路事業である。 費用対効果も見込まれ、用地買収や工事も順調に進捗しているため、事業を継続して早期の完成を図る。	-	-	-	-	-	◎	国 55.0% 県 30.0% 市 15.0%	街路整備課		
					R2(今回)	H23~R3 (+10%)	3,700 (+10%)	3,247 (+1,454)	87.8% (+34.4%)	B/C: 1.1 EIRR: 4.9%															

※1 「変更理由等」欄は、全体事業費の変動が3割を超える場合、計画期間の変動が5割を超える場合に記入する

※2 「評価の視点」欄は、「継続が妥当」一◎、「見直しにより継続が妥当」一○、「継続は妥当ではない」一×

○代表説明事業選定の視点

- 以下の点に基づき代表箇所を選定する。
- なお、①、②に該当する場合には、複数となっても必ず選定する。
  - 社会的に注目されている、課題が大きいなどの箇所(B/C<1など)
  - 事業計画を変更または中止する箇所
  - 事業規模が大、事業期間が長い箇所
  - 計画時又は前回再評価時と著しく事業費・計画期間、効果が異なった箇所  
(事業費は3割を超えて増加している場合、計画期間は5割を超えて延長している場合など)